

平成28年5月9日

厚生労働省障害福祉課
全国社会福祉協議会
全国身体障害者施設協議会
熊本県身体障害児者施設協議会
熊本県障がい者支援課
熊本市障害保健福祉課

御中

熊本県身体障害児者施設協議会
会長 三浦 貴子
(愛隣館)

熊本地震における支援等の状況報告について（15号）

5月7日、5月8日、5月9日の報告をします。

支援協力者一福岡県の千歳療護園の日野会長・谷施設長・大内田さん・石井さん・永松さん・豊さん・永富さん・小川さん、陽だまりの里の土谷さん・武藤さん、慈久園の荒木さん・三池さん、菊池園の柳施設長、酒井さん・石橋さん、天草の星光園の野田潔さん・松下さん、たまきな荘の上田さん・竹下さん、ベトナム育英会の秀嶋さん・川崎さん、山鹿市の松本さん・川口さん。

物資等の受け取り

- ・(株) プラッツ マットレス30枚 ベッド(マット付) 5台(リハビリテーション工学協会、パラリンピアンズ岩崎氏紹介、プラッツ社石橋室長手配)
- ・明治学院大学の平野幸子さん、国立社会保障・人口問題研究所の勝又幸子さん、天草の苓南寮より支援物資(みそ汁・スープ等)
- ・熊本市支援物資(食料等)

【熊本県身体障害児者施設協議会口座】

- ・阿萬哲也様(4.25)
- ・リハビリ橋本 上好久子施設長(4.27)
- ・はんしん自立の家 石田英子施設長(5.2)より支援金

【社福)愛隣園地震被災者支援口座】

- ・高森裕子様(4.21)・勝又幸子様(4.21)・平野幸子様(4.21・5.2)
- ・出雲サンホーム職員・利用者様(4.25)・中島秀夫様(4.25)・大日方邦子様(4.27)
- ・高木憲司・遅塚昭彦様(4.27)・社福)訪問の家 名里理事長様(5.2)より支援金

ご協力まことにありがとうございました。報告が一部遅れまして、申し訳ありません。

【活動と現状について】

(1) 人的支援

- ① 「くまむた荘」への支援第1陣(5月1日～5月10日)、千歳療護園は5月1日～5月7日まで2名、陽だまりの里は5月2日～5月10日まで1名、星光園が5月2日～5月8日まで2名の皆さんにご協力頂きました。そして、たまきな荘が5月8日～5月10日まで2名、佐賀瑠璃光園が5月9日～10日2名の派遣をしています。九州全県で6月4日まで5名ずつのシフトを作り、九州障害者支援施設協議会(日野会長、千歳療護園、久留米市)で取りまとめをしております。

(2) 拠点支援

- ① 物資等の出し入れと被災者への直接支援を行う「愛隣館」へは、4月21日より福岡県の慈久園と4月25日より菊池園が継続して職員派遣を頂いております。施設内でも被災地域に出向く支援もどちらもOKとして下さるので、大変助かっています。この他、熊本県内6施設と福岡県3施設から物資運搬等の支援を頂きました。

(3) 被災地域支援

- ① 5月7日、第3回の温泉リフレッシュ入浴支援を行いました。若葉小学校避難所と益城町の方々を日野会長、服部市議らとマイクロ2台送迎。山鹿のニューグランドホテルと楽心館にて、山鹿市食堂組合（横手会館、おゝぜき、酒の穴、割烹よこて、一房）からの仕出し。そしてランドリーサービスを行いました。

参加者は1才～92才でした。ご高齢の方々の多い若葉小の方々の中には、お風呂に1時間半、食事に1時間をかけられた方もおられ、本当にゆっくりと堪能されました。ホテルには高野観光協会会長をはじめ、昼食を作ったお店のご主人らも現れ、どんな様子で召し上がり、喜んで頂いているかをそっと見に来られます。その中をランドリー担当スタッフが、パタパタと駆け回り、お帰りになる頃に洗濯物を乾燥させて届けます。

避難所で迎える時は静かですが、帰る時はハイテンション、満面笑顔の皆さんを送る事業となっています。地震直後から若葉小避難所を支援し、この事業につないだ山鹿の星子さん(ボランティア)方と一緒に見送りました。

- ② 益城町商工会館の倉庫に避難されている方々は、コンクリートの床に手布を敷いて休んでおられます。衛生状態も悪くなっていると聞きました。そこで、企業との連携で、東北の震災の時も避難所へマットレスなどの支援をしたと伺ったリハビリテーション工学協会の吉田さん、岩崎さん（報告書6号参照）に相談したところ、わずか3時間後に医療・介護用品のプラッツ社から支援の申し出を頂きました。

そして、5月7日朝着のマットレスを夕方益城町の避難所に、千歳療護園、菊池園の協力の下設置。18cmの厚みあるポケットコイル製のマットに避難所の皆さんはびっくりして大喜びでした。ベッドは当法人の福祉避難所に置かせて頂きました。本当にありがとうございました。

5月9日にはプラッツ社（福岡県大野城市）の石橋広報室長がお訪ね下さり、経過をご報告致しました。ご紹介の岩崎さん方とつないで下さった内閣府障害者政策委員会の大日方さんにもこの場を借りて感謝申し上げます。

テーブルで食事をして、お風呂に入って、家で寝るという当たり前の日常が震災で失われた方々が1万5千人以上という状況が続いています。そんな中、ボランティアに助けられて家の片付けが進んだ、仕事に戻れた、こんな事があつたと、たくさんのお話を避難所の方々から聞きます。熊本を心配して下さる方々に支えられていることを感じています。

(連絡先) 障害者支援施設愛隣館
TEL : 0968-43-2771
FAX : 0968-43-2793

